

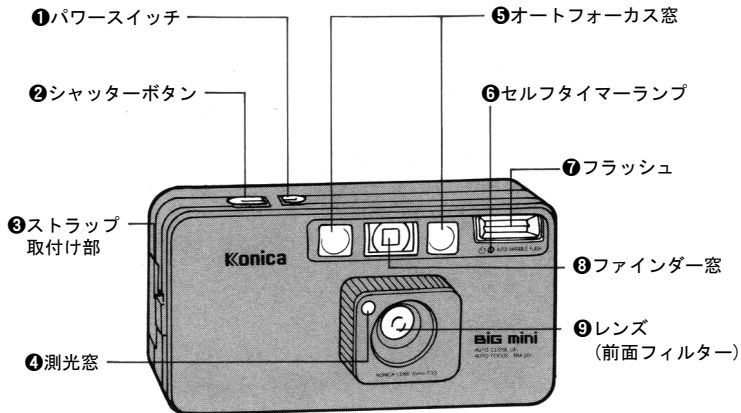
Konica BIG mini

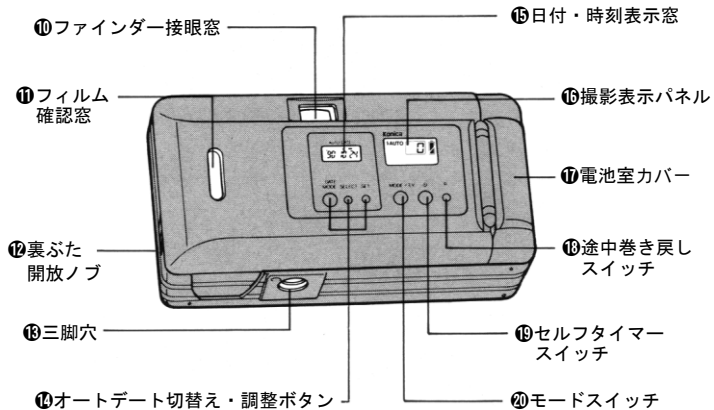
BM-201



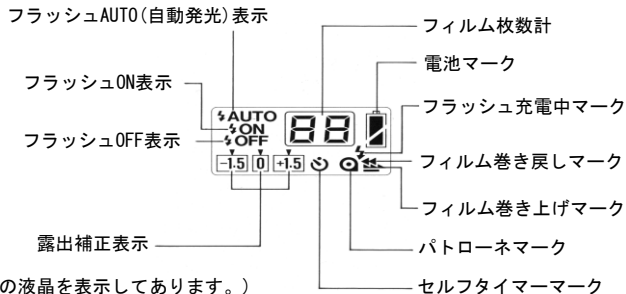
使用説明書

各部の名称



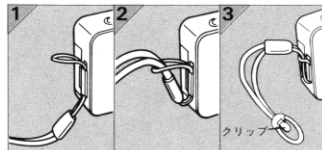


撮影表示パネル



リストストラップの取付け方

カメラを胸のポケットに入れるとき、クリップをポケットの縁にはさんでください。リストストラップをすっきりと入れられます。

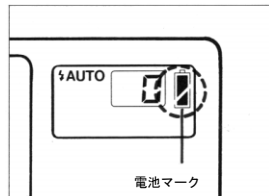


基本撮影

電池の確認、フィルムの入れ方、ファインダーの見方、構え方、一般撮影、クローズアップ撮影、自動フラッシュ撮影、フォーカスロック撮影、フィルムの取り出し方など基本撮影の手順と操作を説明します。

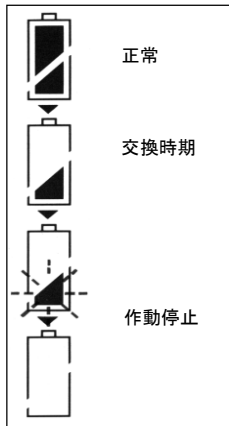
1. まず電池の確認をしましょう

このカメラには電池が入っています。



電池マークが黒く点灯していれば、電池はOKです。

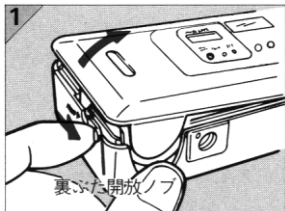
* 使用電池はリチウム電池 (CR123A、DL123A : 3V) 1本です。



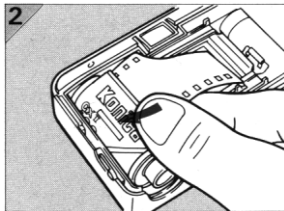
電池交換の時期

電池が消耗して、電池マークが2/3白くなったら、新しい電池と交換してください。

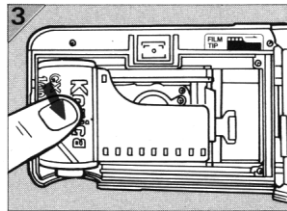
2. フィルムを入れてください



裏ぶた開放ノブを押し下げ、裏ぶたを開けます。



フィルムを入れます。



パトローネ(フィルムの容器)をカチッと音がするまで押し入れ、フィルムが平らに出るようにします。

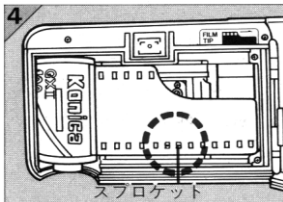
DXコード付きのパトローネ入り35mm(135)フィルムをご使用ください。

フィルムをカメラに入ると同時に、使用フィルムの感度(ISO25~3200)が自動的にセットされます。

*DXコードのないフィルムは、すべてISO25に設定されます。

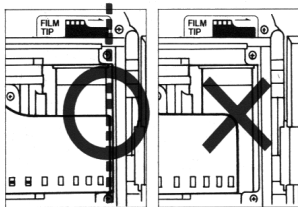
*リバーサルカラーフィルム(スライド用)はISO25、50、100、200、400をご使用ください。





フィルムを少し引き出し先端をカメラ内部の先端マーク () に合わせて、裏ぶたを閉じます。

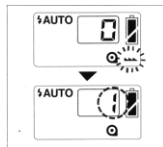
* フィルムのパーフォレーション(送り穴)とスプロケット(送り歯車)のかみ合わせを確認してください。



シャッターボタンを押すと、フィルムは1枚目の撮影位置まで自動的に送られます。

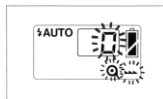
* フィルム確認窓を見れば、フィルムが入っているかどうかわかります。

フィルムが送られているときは…



撮影表示パネルにパトローネマークが点灯し、フィルム巻き上げマークが点滅した後消えて、フィルム枚数計が1になります。

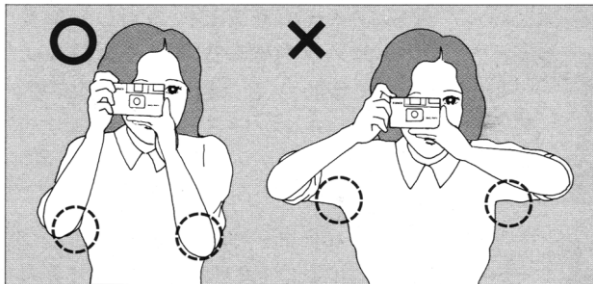
フィルムが送られていないときは…



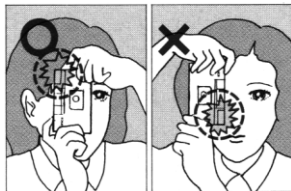
フィルム枚数計が1のままで、パトローネマーク、フィルム巻き上げマークと交互に点滅した後点灯します。フィルムを入れ直してください。

3. 正しい構え方

両手でしっかり持ってカメラぶれを防ぎましょう。

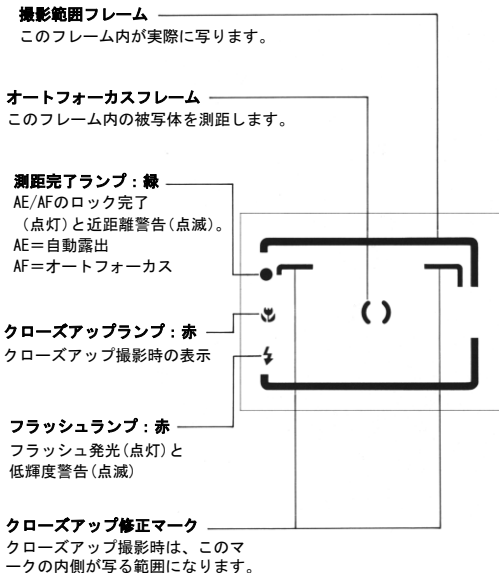


カメラ背部を頬に当て、両ヒジを軽く締めると安定します。ヒジを開くとカメラぶれをしやすくなります。タテ位置のフラッシュ撮影では、フラッシュを上にも構えてください。フラッシュを下にして発光すると、写真が不自然になります。



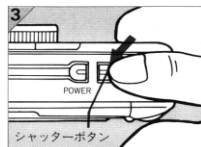
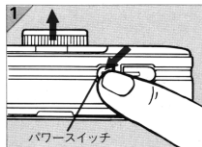
* 指や毛髪などが、レンズやオートフォーカス窓、測光窓をじゃましないように気をつけましょう。

4. ファインダーの見方



5. いよいよ撮影です

撮影の基本的な手順です。



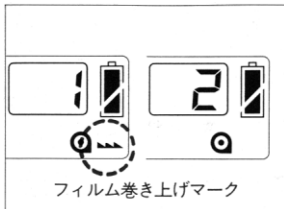
パワースイッチを押してください。レンズが撮影位置まで繰り出されます。

- * このとき撮影表示パネルのフラッシュ充電中マーク(⚡)が点灯する場合があります。
点灯の間は充電中ですからシャッターはきけません。
- * 前面フィルターの汚れにご注意ください。
もし汚れていたら、きれいに拭き取ってください。

ピントを合わせたい被写体に、オートフォーカスフレームを合わせ、シャッターボタンを半押しすると、●ランプ(緑)が点灯して自動的にピントが合います。

シャッターボタンをさらに深く静かに押し込み、シャッターをきってください。

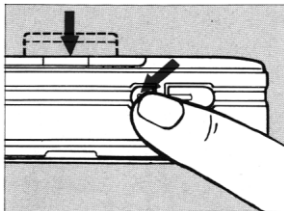
日中撮影の距離：
0.35m～∞



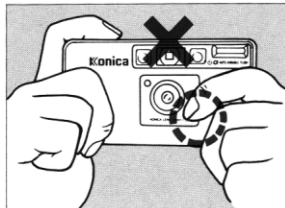
* 撮影が終了とフィルムが1コマ自動的に送られ、フィルム枚数計の数字が1つ進みます。

非常に明るい被写体では……

夏の海岸、雪山、直射日光下の白い花など、非常に明るい(LV16以上の)ところでは、0.9m以内の被写体にピントが合わないことがありますので、0.9m以上離れて撮影してください。



撮影が終わったら、パワースイッチを押してください。レンズが収納されます。



* レンズ部を押さえたままシャッターボタンを押すと、レンズが収納されシャッターがきれませんのでご注意ください。この場合、もう一度パワースイッチを押して、レンズを繰り出してください。

6. 自動フラッシュ撮影

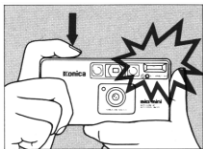
暗いとき自動発光します。



シャッターボタンを半押しして、ファインダー内の ⚡ ランプ(赤)が●ランプ(緑)と共に点灯したらフラッシュが自動発光します。

シャッターボタンをいっぱいにしてフラッシュ撮影をしてください。

- * フィルム感度と撮影距離を自動的に判断し、フラッシュの光量が調節されます。
- * フラッシュ撮影後、撮影表示パネルのフラッシュ充電中マーク(⚡)が、数秒間点灯した後消えますが、この間は充電中ですから、シャッターはきけません。



フラッシュ撮影の距離

フィルム感度	撮影距離
ISO 100	0.35m～3.8m
ISO 200	0.35m～5.3m
ISO 400	0.35m～7.6m

(ネガカラーフィルム使用の場合)

人物をフラッシュ撮影するときのご注意

室内または暗い所で人物をフラッシュ撮影すると、目が赤く写ることがあります(赤目現象)。これは目の瞳孔が開きフラッシュ光が網膜に反射するための現象で、写される人により個人差があります。次の方法で赤目を減少できます。

- ①照明のある明るい室内(新聞が読める程度)で撮影します。
- ②人物に近づいて撮影します。

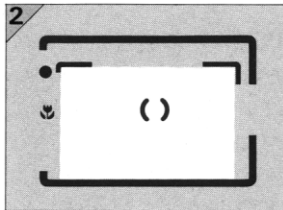
7. クローズアップ撮影

0.35mまで近接してクローズアップ撮影ができます。



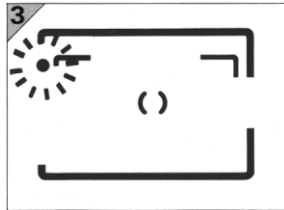
被写体に近接してシャッターボタンを半押しすると、ファインダー内の🌸ランプ(赤)が●ランプ(緑)と共に点灯します。

- * 🌸ランプが点灯したときは自動的にクローズアップ撮影に切替わっています。
- * クローズアップの撮影範囲は、0.6mから0.35mまでです。



被写体にオートフォーカスフレームを合わせ、クローズアップ修正マーク内で構図を決めて、シャッターをきってください。

- * セルフタイマー撮影をするとカメラぶれを防げます。



シャッターボタン半押しで●ランプ(緑)が点滅したときは……

0.35mより近すぎてピントが合わない警告で、シャッターがロックされません。半押しした指をいったん離し、少し離れて押し直してください。

- * 非常に明るい(LV16以上の)ときのクローズアップ撮影では、ピントが合わないことがあります。

8. フォーカスロック撮影

被写体を画面中央からはずしてもシャープに写せます。

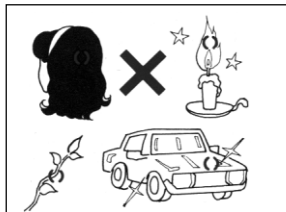


ピントを合わせたい被写体にオートフォーカスフレームを合わせ、シャッターボタンを半押しすると、●ランプ(緑)が点灯してピント位置が固定されます。



半押しのまま希望の構図に決め直し、シャッターボタンをいっぱい押し撮影します。

- * このとき撮影距離を変えないください。
- * 半押しした指をシャッターボタンから離すと、フォーカスロックは解除され、やり直しができます。
- * フォーカスロックと同時に自動露出も固定されます。

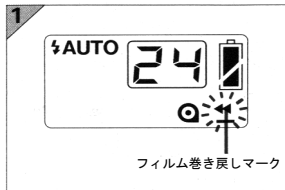


オートフォーカスが正しく働きのにくい被写体

- * 反射しにくい黒いもの、光沢のあるもの、発光体、小さいもの、細いものは測距しにくいので、同じ距離にある測距しやすいものに向けてフォーカスロックしてください。
- * ガラス越しの被写体は、フォーカスロックを行うか、またはレンズをガラスに密着させて写してください。

9. フィルムの取り出し方

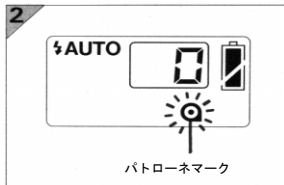
フィルム巻き戻しも自動です。



フィルムが最後になると、自動的に巻き戻しが始まります。

* 巻き戻し中、フィルム巻き戻しマークが点滅し、フィルム枚数計は巻き戻しに連動して減算します。

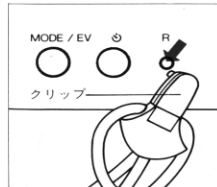
* 写し終わったフィルムは、お早めにカメラ店にお持ちになり、「コニカカラー百年プリント」とご指定ください。美しいカラープリントに仕上がります。



巻き戻し完了で自動的に停止し、パトローネマークが点滅(約10秒後に点灯)します。これを確認した上で裏ぶたを開け、フィルムを取り出してください。

* 巻き戻し中は、レンズの収納もシャッター作動もできません。巻き戻し終了後は、レンズの収納はできますが、シャッターはきれません。安全のための機構です。

途中巻き戻しの方法



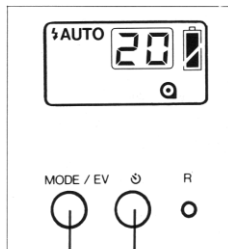
途中巻き戻し(R)スイッチをストラップのクリップ突起部で押すと、撮影途中のフィルム巻き戻しができます。

* 巻き戻し後の表示、操作は \square と同じです。

応用撮影

モードスイッチの切替えによる日中フラッシュ撮影、スローシャッターシンクロ、夕・夜景の撮影、セルフタイマースイッチによるセルフタイマー撮影など応用撮影の手順と操作を説明します。

1. モードスイッチ、セルフタイマースイッチの操作

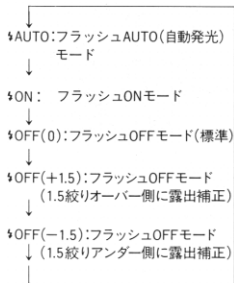


モードスイッチ セルフタイマースイッチ

モードスイッチ

モードスイッチを押すと、撮影表示パネル上に5つのモードが、順次表示され循環します。

- * 通常は**♻AUTO**にセットされています。
- * **♻ON**、**♻OFF(0)**、**♻OFF(+1.5)**、**♻OFF(-1.5)**の各モードは固定され、一度設定したモードで撮影を続けられます。撮影が終わったら、**♻AUTO**に戻しておきましょう。パワースイッチを押してレンズを収納するか、モードスイッチで切替えてください。



セルフタイマースイッチ

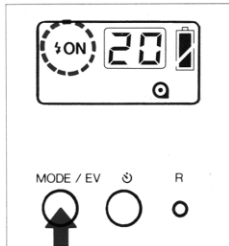
セルフタイマースイッチを押すと、セルフタイマーモードになります。

- * **♻AUTO**、**♻ON**、**♻OFF(0)**、**♻OFF(+1.5)**、**♻OFF(-1.5)**の各モードと、セルフタイマーモードを組合せて撮影できます。

2. 日中フラッシュ撮影(フラッシュONモード)

フラッシュが常時発光するモードです。

逆光や室内窓際の人物、くもり・日陰の人物を明るく写します。



モードスイッチを押して、撮影表示パネルに⚡ONを出します。被写体に向けてシャッターをきれば、明るいところでもフラッシュが発光します。

* シャッターボタン半押しで、ファインダー内に●ランプ(緑)と同時に⚡ランプ(赤)が点灯します。

* バックが暗いときは、スローシャッターシンクロに切替わります。



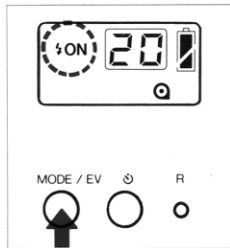
フラッシュ使用



フラッシュなし

3. スローシャッターシンクロ (フラッシュONモード)

⚡ONモードで夕・夜景をバックに人物を写すと、暗い背景も共に明るく雰囲気のある写真が写せます。



モードスイッチを押して、撮影表示パネルに⚡ONを出します。

暗い場所で被写体に向けてシャッターをきれば、最長3.6秒までの超スローシャッターによるフラッシュ撮影ができます。

* カメラぶれをしますので、三脚をご使用ください。



スローシャッターシンクロ

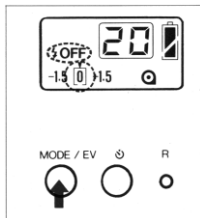


自動発光フラッシュ (⚡AUTO)

4. タ・夜景の撮影(フラッシュOFFモード)

フラッシュが発光しないモードです。

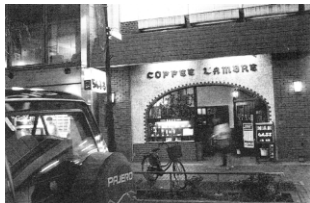
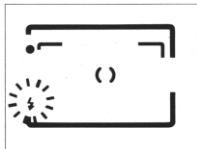
夕景や都会の夜景など、超スローシャッターによる撮影ができます。



モードスイッチを押して、撮影表示パネルにOFF^Bを出します。

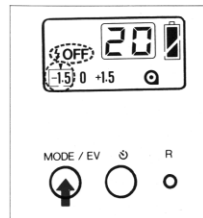
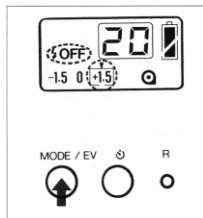
被写体に向けてシャッターをきれば、最長3.6秒までの超スローシャッターによる自動露出撮影ができます。

- * カメラぶれをしますので、三脚をご使用ください。
- * シャッターボタン半押しでファインダー内のランプ(赤)が点滅したら、光量不足で写真が暗くなるという警告です。



5. 露出補正の撮影(フラッシュOFFモード)

意図的に自動露出をコントロールできます。
フラッシュは発光しません。



標準より明るく(暗く)写したい場合は、モードスイッチを押して、撮影表示パネルに \downarrow OFF \square 1.5 (\downarrow OFF \square 1.5)を出します。

被写体に向けてシャッターをきれば、標準より約1.5絞り明るく(暗く)自動露出撮影ができます。

- * 明暗コントラストの強い建物の暗部を明るく写したいとき、スキー場の人物や逆光の人物をフラッシュなしで明るく写したいときなど \downarrow OFF \square 1.5が効果的です。
- * 山頂からの遠望や光の反射が強い場合(雪景、夏の海岸など)を撮影するときなどに \downarrow OFF \square 1.5を使用すれば、明暗の調子をはっきり出すことができます。
- * 暗いときは三脚をご使用ください。



\downarrow OFF (+1.5)



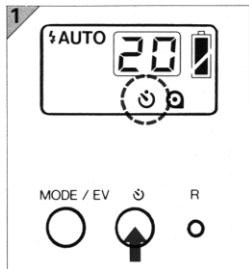
\downarrow OFF (0)




\downarrow OFF (-1.5)

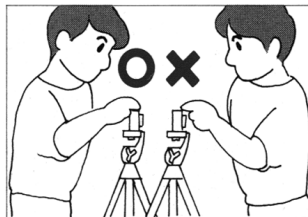
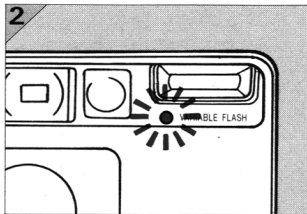
6. セルフタイマー撮影





記念写真のほか、クローズアップ撮影、露出補正の撮影にもご活用ください。



セルフタイマースイッチを押して、撮影表示パネルにを出します。

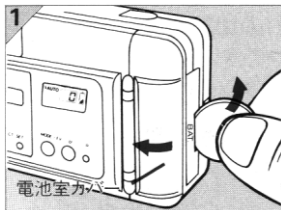
被写体に向けてシャッターボタンを押すと、セルフタイマーがスタートして、約10秒後にシャッターがきれます。



- * スタートと同時にセルフタイマーランプが点灯し、約3秒前に点滅に切替わります。
- * AUTO、ON、OFF (0、+1.5、-1.5)のすべてのモードを選択できます。
- * AUTOで撮影した場合、暗いところでは自動的にスローシャッターシンクロに切替わります。
- * スタートはカメラの前から行うと、前に立った人にピントが合ってしまいます。必ずうしろ側から操作してください。
- * フォーカスロックと同時に自動露出も固定されます。
- * 作動中にキャンセルしたいときは、パワースイッチを押してください。
- * 三脚をご使用ください。

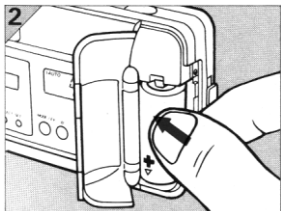
電池交換の方法

電池マークが2/3白くなったら、フィルムが入っていないときに、新しい電池と交換してください。



電池室カバーの溝にコインなどを差し込みカバーを開きます。

* 使用電池は本体とオートデート兼用のリチウム電池 (CR123A、DL123A : 3V) 1本です。



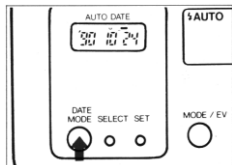
古い電池を取り出し、新しい電池の⊕⊖をカメラ内側の表示に合わせて正しく入れ、電池室カバーを閉じます。

電池を交換するときのご注意

- 1) 撮影の途中で電池マークが2/3白くなったら、最後まで撮影した後電池を交換してください。
- 2) 電池マークが全部白くなると、シャッターがロックされます。
フィルムが入っているときは、
 - ①フィルムを入れたまま、電池を手ばやく(45秒以内に)入れ替えてください。
 - ②電池を交換してシャッターボタンを押したとき、フィルムが数コマ空送りされフィルム枚数計が $\frac{1}{2}$ になる場合がありますが、撮影は続けられます。
「フィルムの終わり近くで電池を交換すると、フィルム枚数計が $\frac{1}{2}$ のまま点滅することがあります。このときは途中巻き戻しをしてください。」
- 3) 電池を交換した後、オートデートの表示を確認してください。

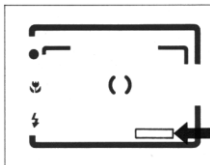
オートデート

このカメラのオートデートは2019年12月31日までの日付・時刻を記憶し、自動的に画面に写し込むことができます。



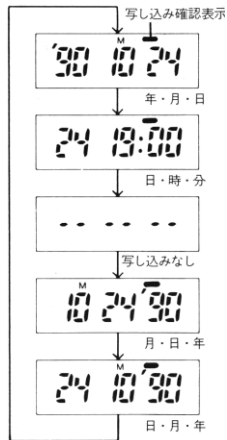
表示モードの切替え

MODEボタンを押して、日付・時刻・写し込みなしを選びます。

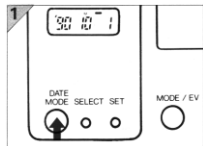


写し込みの位置とバック

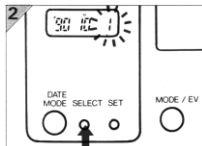
図はファインダーでのぞいて日付、時刻の写し込まれるおよその位置です。写し込み位置のバックが明るい場合や白い場合は、デート文字がはっきり出ないことがありますからご注意ください。



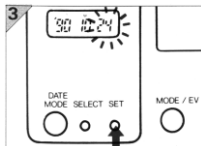
日付・時刻の調整



MODEボタンを押して、修正する日付または時分をパネルに表示します。

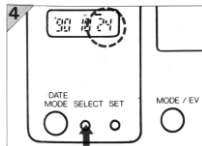
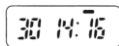


SELECTボタンを押して、修正する日付または時分を点滅させます。



SETボタンを押して、日付または時分を点滅のまま修正します。

SELECTボタンを押すと、点滅が点灯になり、**—**のマークが現われて写し込みの状態になります。



* 分を修正した後SELECTボタンを押すと、**：**が点滅します。もう一度SELECTボタンを押して、写し込みの状態にしてください。

* 秒まで合わせるには、**：**の点滅時に時報に合わせてSETボタンを押します。さらにSELECTボタンを押して、写し込みの状態にしてください。

おもな仕様

形 式	レンズシャッター式AF全自動35mmカメラ
画 面 サ イ ズ	24×36mm
レ ン ズ	コニカレンズ 35mm F3.5(4群4枚) スカイライトフィルタ ー内蔵
シャッター	絞り兼用プログラム電子シャッター 電磁リリース 3.6秒～1/500秒(無段階変速)
パワースイッチ	スイッチONで鏡胴の繰り出し駆動
焦点調節	赤外線ノンスキャンアクティブ式自動焦点 撮影範囲:0.35m～∞ フォーカスロック可能
クローズアップ	0.35m～0.6mの撮影時にクローズアップランプ点灯
A E 調 節	CdS受光素子使用プログラムAE 中央重点測光
A E 連 動 範 囲	ISO 100:EV2(F3.5・3.6秒)～EV17(16・1/500秒)
フィルム感度	自動設定(ISO 25～ISO 3200)
ファインダー	アルバダ式透視ファインダー ブライトフレーム オートフォー カスフレーム クローズアップ修正マーク 測距完了 ランプ(点滅で近距離警告) クローズアップランプ フラ ッシュランプ(点滅で低輝度連動範囲外警告)
フラッシュ	手振れ限界輝度時に自動発光するフラッシュマッチ機構 連動範囲(ISO100):0.35m～3.8m 発光間隔:約3秒 感度・距離を自動的に判断して光量を調整 ⚡ON、⚡OFF モードに切替え可能 液晶パネルにフラッシュ充電中表示

セルフタイマー	電子式 作動時間:約10秒 カメラ前面の赤ランプが最初の7秒間点灯した後3秒間点滅 途中解除可能 セルフタイマースイッチによりセット 液晶パネルに表示
露出補正	フラッシュOFFモードでは標準のほか+1.5EVおよび-1.5EVの露出補正可能 液晶パネルに表示
モード切替え	♢AUTO(自動発光)→♢ON→♢OFF(0)→♢OFF(+1.5)→♢OFF(-1.5)の5モードを循環 液晶パネルに表示
フィルム給送	電動式 シャッターボタンスタートによるオートローディング 自動巻き上げ フィルム終了でオートリターン巻き戻し後自動停止 途中巻き戻し可能 液晶パネルに表示
フィルム枚数計	順算式 液晶パネルに表示
オートデート	液晶表示式デジタルウォッチ内蔵 2019年までの年月日、日時分、写し込みなし、月日年、日月年を表示、秒単位まで調整可能
撮影可能本数	50%フラッシュ発光のとき:約35本(24枚撮りフィルム)
電源	リチウム電池(CR123A,DL123A:3V)1本 液晶パネルに電源チェック表示
大きさ・重さ	115×63×34mm 190g(電池別)

* 上記の性能については当社試験条件によります。

* 製品の仕様、外観は予告なく変更することがあります。